

the people

元気なまちには 元気な主張を続け
元気に行動する 市民がいる

オーガニックコットンプロジェクトの自立化に向けて

2012年から、本会が主導的な立場に立って進めてきた「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」。福島県浜通りを中心に、有機農法でのコットン栽培を通して震災後の農業の状況を改善し、同時に人の繋がりづくりにも寄与することを目指して事業を展開してきました。その取り組みが、今年度で10年目を迎えています。この間、様々な主体との連携を進め、福島での震災復興の取り組みのひとつとして、ある程度の基盤を整えることが出来ました。そして、今、プロジェクトでは、新たな展開を目指して一般社団法人として独立することとなりました。通称は「ふく・わた」です。

6月12日に、地球環境基金の助成事業として実施された「2020年度ふくしまオーガニックコットンプロジェクト報告会」の中でも、この「ふく・わた」の設立に関する報告が行われました。もちろん、本会が法人の主要メンバーとして今後も活動を支えていくことに変わりはありません。栽培からものづくりまで様々な形で連携する主体の今後に、どうぞご期待下さい。

7月21日、ホームページとフェイスブックページが立ち上がりました。是非、覗いてみて下さい。

URL:<https://fukushima.organic>

FB:<https://www.facebook.com/fukushimaorganic>

東日本国際大学ライオンズクラブとのコラボレーション

7月18日。平下平窪の「ブラウンコットン」と名付けられたコットン畑に、東日本国際大学の学生といわき短期大学の学生、総勢24名がやってきました。一昨年から続いているコラボ事業です。夏井川の改修工事の影響で、今年から圃場の場所を変更し、新たな農地での栽培に取り組んでいます。本当なら播種時期から活動を一緒にしたいところでしたが、コロナ禍の影響で今までは活動を見合わせ、7月からのスタートとなりました。(この活動は地球環境基金の助成を受けています)

今年一番の暑さの中、午前中は皆でコットン畑に支柱を立て、成長のいいものでは1m近くまで背丈が伸びたコットン苗の手入れと草刈りに汗を流しました。そして、午後からは綿繰り糸紡ぎの体験と畑に立てる看板のアイデアを出してもらってワークショップを行いました。

「暑かったけれど、初めての体験で楽しかった」と、口々に感想をのべてくれて、受け入れた側も大満足の日でした。



▲暑い中、畑作業を体験する学生たち

the people (NPO法人ザ・ピープル)

令和3年(2021年)7月号

発行:特定非営利活動法人 ザ・ピープル

代表者:吉田 恵美子

所在地:〒971-8168 福島県いわき市小名浜君ヶ塚町13-6

TEL:0246-52-2511 FAX:0246-92-4298

URL:<http://npo-thepeople.com/>

E-mail:the-people@email.plala.or.jp

onahama.volunteer@gmail.com



オンラインで事業進む

東京オリンピックが一年遅れで開催され、世界から多くの選手が来日する中、日本からの海外渡航はまだ多くの障壁があります。2019年10月より事業がスタートしたJICA草の根技術協力事業はオンラインで物事は、なんとか進める事が出来ています。しかしながらリアルで会えない障壁は、これまで交流が少なかったミクロネシアでは大きく、オンラインでの活動に限界を感じています。海外支援、協働は信頼関係がとても重要で、本音の意見をぶつけられる、上下関係無くともに汗をかく中、生まれる信頼関係がプロジェクトの成功と、プロジェクト終了後の現地活動の継続に繋がります。時には朝まで思いをぶつけ合う。その過程を経て生まれる信頼。その上に物事が成り立っているとも言えます。コロナ禍の中、それが出来ないのです。

現地渡航が出来ない中で、期限、予算、目標が重くのしかかっています。その状況を打開するため、渡航による現地活動を行い、相互理解、信頼関係の再構築をすべく、JICAと事業の再延長を話し合っています。

ミクロネシアでの活動目的は、電気や水道のライフラインが無い島の女性達の自立。多くの途上国がそうであるように、同国でも多くの若者が海外に出稼ぎに出て、家族の生活を支えている現状があります。私たちの活動は、



▲ソーラーミシンを学ぶ島の女性達

それを大きく変える事は出来ませんが、ソーラーの技術とミシンの操作を島の女性達が身につけることにより、島に住み続けながら家族の生活を支えることに少しでも貢献したいと考えます。

フード&クロージングバンク事業へのご協力を!in イオンモール小名浜

本会の本拠地、いわき市小名浜。その地域の最大のショッピング施設であるイオンモール小名浜の店内で、6月から本会の活動をバックアップしようとフード&クロージングバンクの回収呼びかけイベントが行われています。

初回の6月は、11日から13日の3日間にわたって、古着回収ボックスと食品回収ボックスを持ち込んで、呼びかけをさせて頂きました。会場となったマリンコートに設置されている大型スクリーンには、回収呼びかけの掲示が終日映し出され、人目を引いていました。次は7月21日に実施。今後は、8月23・24日に回収呼びかけを予定しています。是非沢山の皆様のご協力をお待ちしております。



▲イオンモールでの古着・食品回収